

## 2016J2

### ■順位表■第28節(暫定)

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1*	1	札幌	59p	+25	44	19	H●	A●
	2	松本	53p	+17	40	23	H●	AΔ
	3	C大阪	51p	+11	42	31	H●	
	4	岡山	50p	+13	40	27	A○	
	5	清水	47p	+26	53	27	HΔ	A●
	6	京都	47p	+11	37	26	H●	
	7	山口	42p	-1	41	42	H●	
	8	町田	41p	+6	36	30	AΔ	
	9	千葉	37p	+3	38	35	A●	
1*	10	横浜FC	37p	-1	32	33	A○	
1*	11	長崎	36p	-3	31	34	H●	A●
1*	12	愛媛	34p	-4	21	25	A○	
	13	徳島	33p	-4	27	31	A○	
1*	14	水戸	32p	+1	28	27	H○	A●
	15	東京V	32p	-9	27	36	AΔ	
	16	山形	30p	-5	26	31	H●	
	17	讃岐	30p	-9	28	37	A●	HΔ
3*	18	熊本	30p	-10	26	36	H●	
	19	群馬	29p	-8	33	41	A●	
	20	岐阜	26p	-19	28	47	---	---
	21	金沢	24p	-19	25	44	A○	H●
	22	北九州	23p	-21	27	48	H○	

注：\*のついたチームは消化試合が  
前の数字だけ少ない(1\*は1試合)

## 次回HomeGame

第31節 vs. ジェフ千葉

9/11(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

## 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23  
tel:058-273-8998

## ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心 癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## today's guest : 徳島ヴォルティス

2015 J2 13勝14分15敗 勝ち点53:第14位

### 直近の対決と結果

2016/04/03  
J2-06節@鳴門大塚

### 徳島 1-3 岐阜

苅部隆太郎、鈴木ブルーノ、  
風間宏矢 scored.

### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		徳島ヴォルティス	
2016/08/11 J2-28節@松本 松本 1-1 岐阜		2016/08/11 J2-28節@鳴門大塚 徳島 1-1 町田	
2016/08/07 J2-27節@長良川 岐阜 1-1 讃岐		2016/08/07 J2-27節@Cスタ 岡山 1-0 徳島	
2016/07/31 J2-26節@アイスタ 清水 2-0 岐阜		2016/07/31 J2-26節@鳴門大塚 徳島 2-2 松本	

●吉田恵・新監督のホーム初戦となった8/7(日)第27節・讃岐戦は、守備の構築に手応えを見せたFC岐阜。試合終盤には相手に先制を許してしまうものの、アディショナルタイムに#9エヴァンドロのゴールで追いついて1-1での引き分け。勝利こそ得られなかったものの連敗を7でストップし、5試合振りの得点そして貴重な勝ち点1を積み上げることができた。つづいて中3日で臨んだアウェイ8/11(木)第28節・松本戦でも、現在2位の松本を相手に前半に先制されても粘り強い守備で追加点を許さずに耐え続けると、またしても試合終了直前に#36瀧谷亮のヘディングで同点とし、上位チームのアウェイで価値ある1-1での引き分け。2試合連続で最後に追いつくという、吉田監督の指揮下で変わりつつあるチームの粘り強さや変化の手応えを、スタジアムに駆け付け付けたFC岐阜サポーターたちに印象づける試合となった。

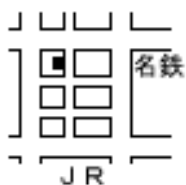
この2試合の結果だが、残念ながら20位だった群馬が連勝したのでFC岐阜は順位を一つ下げて、19位から20位へ。しかし、降格圏にある21位の金沢および22位の北九州は勝ち点をそれぞれ1ずつしか積み上げられなかったため、下位の両チームとは勝ち点差を1拡げることができた。もちろん試合に勝利して勝ち点3を得る方が望ましいが、そうでない試合でも、しっかりと勝ち点を積み重ねていくことは、これまでのリーグ戦でも重要だったし、今後の残留争いではますます重要だ。その点でも、2試合連続での引き分けという結果は意味のあるものだ。そして、19位・群馬との勝ち点差が3、14位・水戸までの勝ち点差が6と、彼らにもまだ手の届く位置で追い続けていられるのも、勝ち点を積み上げたからこそだ。この2試合で積み上げた勝ち点2を、さらに意味のあるものにするため、そしてチームの変化の手応えを、選手たちや僕らサポーターの自信に変えるためには、やはり今節こそ勝利が必要だ。

さて、その今節の対戦相手は現在13位・勝ち点差7の徳島ヴォルティス。一昨年には四国初のJ1クラブとなった徳島だが、選手の大幅な入れ替えにより、現在はプレーオフ争いにも絡めていない。しかし1年目となる長島裕明監督の戦術が徐々に浸透していった結果、後半戦の7試合では3勝2分2敗。直近の3試合では2分1敗と結果が出ていないが、その相手は松本・岡山・町田と昇格争いをしている上位チーム。徳島の側も、今節は勝って流れを取り戻そうと考えて長良川に乗り込んでくるだろう。

徳島で最も注意すべき選手には、#16渡大生を挙げておきたい。現在7ゴールでチーム得点王、しかも直近4試合で3ゴールと調子は上向きだ。また4ゴールの#17山崎凌吾、3ゴールの#7木村祐志と#17山崎凌吾など、連携した攻撃でゴールを狙ってくる徳島の攻撃陣に対して、守備ブロックを再構築中の岐阜のDF陣が先制点を与えないよう、しっかりと集中して奮闘することを期待したい。通算対戦成績は、FC岐阜の5勝2分9敗15得点27失点と負け越し。しかし今シーズン前半戦のアウェイ4/3(日)第6節は3-1の逆転勝ちで4連勝を達成した試合になった。一方のホーム戦では4勝2分3敗11得点9失点と若干の勝ち越しとなっているが2010年のメドウでの勝利以来、過去4戦は1分3敗と苦杯を舐め続けている。前回のホーム対戦となった昨年10/4(日)第3節も1-2と敗れている。今回はリベンジを果たしたいところだ。

前節からわずか中2日というタイトな日程での3連戦の最終戦となる。両チームとも疲労が蓄積しているだろうし、スタメンの変更も予想される。しかし、だからこそホームの優位性が活きるチャンスでもある。僕らのポジティブな大きな拍手と声援で、選手の気持ちを奮い立たせ、その背中を押そう。今回こそホームでの勝利を。5ヶ月振りとなる、そして吉田監督の初勝利を、みんなで掴み取ろう。

(ささたく)



「いらっやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から  
徒歩3分。

休:月曜日

## 投稿募集!!

アドレスが変わりました

[gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第27節】岐阜 1-1 讃岐

●ココでこうなるのか……。なんてことだよ……。そんなことを思ってしまいました。ええ、失点直後の話です。それでも、チャントを続けていたのは我ながらたいしたもんだとも思います、ただの意地でしたが。

見た時に「どう並ぶんだろう？」と悩んだスタメン。雅也の相方に磐瀬。岡根がアンカー。監督の意図は揺るぎないことを、改めて示したスタメンとも言えるでしょうか。確かに讃岐も攻め手を欠いていたと思えなくもないのですが、あの時間まで耐えしのいでいたにもかかわらず、ほんの一瞬のスキを突かれた。久しぶりの前半無失点。そして、まもなくアディショナルタイム突入という場面まで防いできたのに……。前半は耐え、後半は攻撃的な選手を投入というプラン。いざという時の大作戦も、流れの中で実行できるように、最初から岡根を配置。ことによっては、最終ラインへ下げること可能なメンバー選定。それなのに……。という残念な失点でしたが、明確な意図の下に戦う選手たちの気持ちが同点ゴールを導いてくれた。長良川での勝利をつかむことはできなかった。それは悔しい。でも、気持ちが切れそうな時間帯の失点にも気落ちすることなく戦ってくれた選手達に感謝したい。

7月には一つも取れなかった勝ち点を、8月は最初の試合から勝ち取ることができた。まだまだ危険な位置にいるし、厳しい試合が続くのは間違いないが、それでも戦えるカタチは見てきたかな、と。引き分けで満足はしたくないけど、今までは引き分けにするのも難しかったことを思えば一歩前進。今日の勝ち点1は大きな意味を持っていると思う。これをムダにしないためにもアルウィンで後押ししてきます。(ぐん)

●吉田監督に交替してすぐに結果が出るとは思っていなかったの、上位チームである札幌・清水とのアウェイでの敗戦は、僕にとっては想定内。このホーム・讃岐戦からが、吉田監督体制での「初戦」と思っていた。もちろん、それでも指揮を執って2週間ですから、まだ期間が短いですが…(苦笑)。

スタメンも、やはり前の2試合とは大幅に変更してきていて「なるほど、これが今の吉田監督の選択なんだな」と。#33レオミネイロがベンチ外だったのは少し意外だったけれど、今まで無理させていたからなあ…。

いろんなメディアでの報道によると、吉田監督は「まずは良い守備から」と守備面の強化に重点を置いているとのこと。前の2試合では時間が短すぎたのと相手が強かったのも、その強化をあまり実感することができなかったのだけれど、この試合では守備ブロックが今までよりも効果的に機能していることが感じられた。けれど、守備面に比重をかけているためか、残念ながら攻撃は少し迫力に欠けているかも。クサビのボールが入らないor収まらないので、攻撃が単発で終わってしまうシーンが何度も見られた。もちろん、前の2試合で感じたように、以前よりは攻撃の手法・決めごとが整理され、選手たちから「何をしたらいいか判らない」という雰囲気は消えているし、得点の匂いはするように、少なくとも僕にはそう感じられた。

前半は、まずはしっかり守備を固めて無失点に終わり、後半から様子を見ながら攻撃的な選手を投入して、徐々に攻撃にシフトして得点を奪う…そういうゲームプランも、今のウチが置かれている立場を考えれば納得。

試合終盤にゴール前を崩されて先制点を許してしまったけれど、ロスタイムに#10レオナルド・ロシャのロングボールが、ゴール前で張っていた#9エヴァンドロに、まるでエアポケットのように(苦笑)スッポリと収まり、同点ゴール！できれば勝ちたかったけれど、8連敗するのと、ドロー&勝ち点1を奪うのは天と地ほどの差がある。価値あるゴールだった。そしてチームの成長を感じることができた、価値ある引き分けだった。(ささたく)

●試されている試合だと思った。金沢戦で負けての監督交代。その後の2試合は、申し訳ないがチーム修正のための投資期間だと思っていた。札幌戦の粉砕惨敗で「そう簡単にチームは立て直らない」ということを選手も現場スタッフも思い知っ

ただろう。清水戦では、0-2で負けたものの守備の構築が始まっているのが見て取れた。無人の廃墟と化した“幽霊ビル”を解体してガレキの片づけが終わった、というくらいか。

この讃岐戦では、守備構築の土台設計と工事着手までは進んだかな？という気はする。讃岐が木曜の試合を考えてガシガシと来なかったことも幸運だったかもしれない。ただ、あくまでビル工事に警えるなら「倒れにくいビル」が建つだろうが「そのビルで何をやるのか」が決まっていな。マンションにするか、商業施設を誘致するのか。建てたビルでどうやってカネ(勝ち点)を稼ぐのかが未着手。とりあえずカネを稼げる能力がありそうなブラジル人に工事中でも使えるエリアをテナントとして入ってもらい市場でもなんでも開いてもらってカネ(勝ち点)を稼ぐ。それはFC岐阜という“ビル・オーナー”としても悪い営業戦略ではない。なにせ、いまは「倒れにくいビル」を建てるのに精一杯なのだから。

レオロシャのFKからエヴァンドロ。ハンドかな？ハンドかな？ぼくの友人の推理小説マニアが「完全犯罪は犯罪ではない。だって、バレないんだから」と言っていたが、とにかく認められたゴールで勝ち点1。守備崩壊に選手の自信喪失、そしてそれに何の対応もしない監督……を見せられ続けた長良川の観客に「とりあえずこれからは『勝ち負け』をお見せできるようにします」という現場からの答が、ようやく帰って来た。そんな気がした。(吉田 Casting)

## 【第28節】松本 1-1 岐阜

●近場・隣接長野県でのアウェイ。今年から制定された祝日“山の日”だったことで、何も考えずに向かったんですが…今年から“お盆休み”は今日からのところが多いのね。僕にとっては予想外の渋滞でした(苦笑)。

岐阜のスタメンは#17野垣内俊→#2阿部正紀となった以外は変わらず。前節の讃岐戦と同じように前半は守備的にいくことが想像できた。一方の松本は、スタメン4人を変更。中3日での連戦、そして次に中2日でセレッソ大阪との試合を控えての布陣だろう。いわゆる“ターンオーバー”だ。こちらは20位で向こうは2位、これが現実だし怒ってても仕方がないし、ギャフンと言わせるしか手はない。

はたして、僕らにとってはありがたいこと(苦笑)に、松本の選択は裏目に出た。12試合振りにスタメン出場した#8ウィリアンスが前半10分で交替。この予想外の交替劇にも助けられて、岐阜の守備ブロックは機能する。ただ、セットプレーを得意とする松本に、悔しいけれど見事にやられてしまった。セットプレー時に岐阜の守備はマンマークだと思うんだけど、そのマークをゴール前の密集形態(バスケットで言うスクリーンプレイ)で剥がされてしまい、完全にフリーにしてしまった。あそこでDFの誰かが臨機応変にフォローするか、GKがブロックできれば良かったんだけど…セットプレー巧者の松本らしい、計算された得点だったと認めざるを得ない。ただし、その後は岐阜の守備陣もしっかりブロックを形成して粘り強くゴールを固め、追加点は許さない。

ただし、一方の攻撃は…残念ながら、前節の讃岐戦よりも打つ手がないといった印象。全くと言っていいほど前線に、1トップの#36瀧谷亮にボールが収まらない。それは松本の守備陣が堅牢だったことでもあるけれど、今節も守備の時間ばかりが続く、そんな試合展開に。前半のシュートは、ロスタイムに#36瀧谷が放った1本のみ。前半終了間際に#9エヴァンドロが投入されてからは、少し攻撃の形ができてきたけれど、やはり試合は松本のペースのまま。僕ら岐阜サポとしては、もっと積極的に仕掛けたりシュートを撃つシーンが見たいのだけれど、岐阜の選手たちはカウンターで失点を重ねることの方を恐れてなのか、守備の形を崩してまで攻める選択肢をなかなか採らない。とはいえ、#10レオナルド・ロシャ、#33レオミネイロと、ブラジルトリオを次々と投入していくことで、少しずつ攻撃にシフトする岐阜。その一方で守備が破られ、危うく失点かと息が詰まりそうになるシーンが何度か。いやあ、今節は(今節も?)ゴールポスト&クロ

スパーさんには助けられたなあ…(苦笑)。  
試合内容では圧倒的に岐阜が不利だったけれど、1つのプレーがすべてを決めた。試合終了間際、#10 レオロシャが松本のゴール前に送ったFKを#36 瀧谷が頭で合わせて、ついにゴール！目の前での同点ゴールに沸き立つ岐阜サポ。だけど、僕は同じ様に#36 瀧谷が後半ロスタイムに同点に追いついて、だけど再び突き放されたホーム・熊本戦の光景が脳裏に浮かび上がっていて、試合終了の笛を聞くまでは全然喜べなかったことを告白しなくてはなりません(苦笑)。

入場者数、15,602人。岐阜サポが約600人と見積もって、松本サポが1万5千人。その彼らが試合終了後に、わずかな時間とはいえ負けたかのごとく沈黙し、一方の岐阜サポは勝ったかのごとき快哉。趣味が悪いとご指摘の諸兄もおられるでしょうが、これもアウェイの醍醐味(苦笑)。アルウィンでは試合が見やすい歓声が響き渡るし、良いスタジアムだと思うんだけど、毎試合1万人以上が来るのにスタジアムグルメが少ない&試合開始30分前に販売終了するのは、どうなんですかね…スタグルでは長良川が一番です！(笑)。

そして瀧谷には、僕は心からお詫びしなくてはなりません。試合後のインタビューで、「点獲る以外は何も仕事していません」って言って、それは事実だと思う(苦笑)んだけど、裏を返せば点を獲ってしまえば許されるのがFWの役割。そして交替を迷いながらも最後まで替えなかった吉田監督の采配にも敬意を表したい。それと#10 レオロシャは、やっぱりすごいね。これで讃岐戦とあわせて2アシスト(?)になるのかな。彼のロングキックは独特の軌道を描くから、これからチームの武器になりうるかも、そうすればセットプレーでの得点にも期待が持てるかも…近場とはいえ日帰りの遠征は少し大変だったけれど、守備面での向上とともに、チームの調子・戦術が上向きになっていく手応えをさらに感じられた、そんな試合だった。(ささたく)

●試合後の観戦仲間との慰労会兼反省会で「いや〜、勝った後の酒はウマイね〜。」などと、おバカなことを言うくらいに嬉しかった。アルウィンで、15,000入ったスタジアムで、優勝争いしている松本相手にアディショナルタイムでの同点劇だもの。これくらいのジョークはお許し願います。これで、もし、同点直後の左からのクロスに瀧谷とエヴァが重なってなければ……。いや、それを妄想するのはやめとこう。なにせ、パーやポストの活躍がなければ、いったい何点取られたかわかんない試合をドローに持ち込んだ。その勝ち点1を大切にしなければ……。しかし、同点になっただけなのに、アノ瞬間は我を忘れた。余りに喜び過ぎて、かぶつてたキャップが飛んでいってしまって、慌てて拾いに行っただけだ。シュートがGKの手を弾いてゴールに転がり込んだ。そこは覚えているんだが、誰のゴールだったかは、後で映像を見るまで思い出せなかった。あれ？スタジアムのビジョンにも出たはずだよな？ダメだ、そんな余裕が全然なかったよ。追いついた途端に出された残り時間の表示が5分。

おい、松本が追いつかれたからか？そんなフザけたアディショナルタイムは！と思うくらいにテンパってた。ウチが勝ち越しゴールを決める時間がいっぱい！ぐらいに思わなきゃいけないはずなのに(苦笑)。そんな感じで恥ずかしいやら情けないやらのアルウィンでの松本戦。ココで勝ち点取るのは、ホントに嬉しい。ありがとう！と選手に言いたい。それでも、ギリギリっていうか、危ない場面満載な展開。プレースキックも含めて工藤と那須川にヤラれたな。特に、プレースキックでは右の工藤と左の那須川が必ずセットで、どちらが蹴るかわからない。そのフェイクから失点。日本平での清水戦で危うく決められるところだったサインプレーをしっかりと決められた。一回ヤラレそうになったんだし、どの相手にも警戒しとこうよ？まあ、ウチもセットプレーから追いついたんで、やっぱり、防ぐのも難しいんだな。

とにかく、2試合続けて勝ち点ゲット。中二日でコンディションを整えるのは大変だろうけど、移動が短いのはプラスかしらん？徳島戦では、ぜひとも勝利を！もちろん、後押しに行きますとも。今度はしっかり見ておきます。いっぱい決めちゃってください！(ぐん、)

●テレビ観戦だったけど、2回絶叫した。同点の場面と試合終了の場面。それまで、「なんで0-1なのかわからない」「GKヨシナリはこれまでに何匹の『クロス・パー』や『ゴール・ポスト』という名のポケモンを捕獲してそいつらを一齐に解放したのか』と思ってしまいうくらいの試合内容だった。「ただの間接FK」だったはずのレオロシャの長いFKがぐにゃあ〜と曲がって走りこんできた瀧谷のアタマに自分からあたりに来てくれたかのような。スカパー！では、岐阜の3人の選手交代の際に、3回とも「瀧谷に替えて……あ、瀧谷は残しますね」というようなことを言っている。それくらい、瀧谷はあのゴール以外マトモな仕事をさせてもらってない。それでも、めぐめぐ監督は最後まで瀧谷を残した。「0-2にされてもいいから勝ち点ゲットを目指す」というバクチを打ったのだ。「得失点差」のリスク・ヘッジより、「勝ち点」へのチャレンジ。それが最後に実ったわけだ。

自宅で晩ご飯を食べながら見ていたが、同点の場面以降は試合が終わるまで箸も持てなかった。近くにあったタオルを口に当てて、祈ってるんだか願ってるんだかわからないポーズで試合終了までテレビに向かってた。嫁が「試合終盤の高校野球の応援席にいる女子高生だよ、写真に撮ればよかった」と笑っていたが、まさにそんな感じだっただろう。試合終了。野球選手のイチローが「ビジター戦でホームの客を黙らせる快感」を語っていた記憶があるのだが、「アルウィンで松本サポを黙らせる」くらいアドレナリンが噴出することは、そうはない。ドローなのに祝宴を予約してしまった(笑)。たかが勝ち点1だ。しかし、現在のFC岐阜はその「たかが勝ち点1」を必要としている。(吉田铸造)

## 【ユース】夏のG1リーグ

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年G1リーグに参加しています。現在はリーグ中断中ですが、次のトップチームのリーグ戦のホーム試合が9月11日まで無いので、その間の試合予定を共有させていただきます。

第10節 8/27 12:30 ~ 対岐阜工業@各務原ス

第11節 9/ 3 10:00 ~ 対大垣工業@赤坂A

第12節 9/10 12:30 ~ 対長良@笠松GFC

第13節 9/17 10:30 ~ 対東濃農業@メドウ

良ければ頑張っている選手達を応援に行ってやって下さい。

●そして今年になってFC岐阜ユースを率いてきた三田監督がトップチームのコーチを兼任する事となり、それに伴い川島コーチが監督に就任する事となりました。これまででもずっとFC岐阜ユースのコーチをして頂いていたので、チーム内容はきっちり把握して貰っていると思いますので、これからも宜しくお願いします(ぺこり)。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間に変更される場合が有ります。岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

## 8/12 現在の、J3 順位表。

自動昇格	1	栃木	20 試合	43p +13	24	11	★保有
入替戦	2	大分	20 試合	36p +12	31	19	★保有
	3	鹿児島	19 試合	36p +12	26	14	●申請中
	4	長野	20 試合	33p +6	20	14	★保有
	5	秋田	20 試合	31p +4	22	18	
	6	富山	19 試合	30p +5	21	16	★保有

●やはり「J2降格組」がしっかり上位にいるな……という印象です。あと、これは別件になりますがJ3勢は天皇杯出場シードがありません。県予選からの出場になりますが、リーグ首位の栃木が県準決勝で姿を消しました。J3に落ちると、天皇杯に出られないこともあるよ……ということです。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人：吉田铸造)

